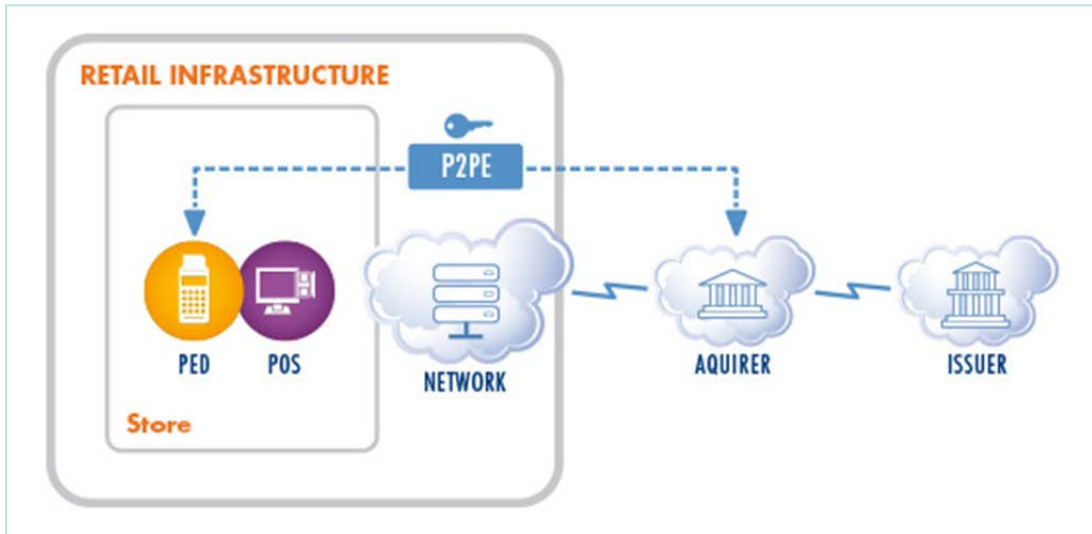


PCI P2PE オンサイト評価のご紹介

P2PE (Point-to-Point Encryption) とは？

P2PE は Point-to-Point Encryption を略したものであり、**伝送中のカード会員データが常に暗号化されていること**を意味します。

カード会員データの読み取り装置から決済処理を行うポイントまで、End to End でカード会員データを暗号化するという考え方をベースにしています。



PCI P2PE の対象について

PCI P2PE への準拠は、**P2PE ソリューションを提供するソリューションプロバイダ**が対象となります。加盟店やその他のサービスプロバイダが認証を受ける必要はありません。

また、P2PE ソリューションを構成する要素として、P2PE コンポーネント（暗号化管理サービス、復号管理サービス、鍵管理サービス）があり、これらも独立して認定を受けることが可能です。

BBSec は国内でも数少ない PCI P2PE 認定評価機関として、**P2PE QSA によるオンサイト評価**を実施致します。

PCI P2PE 準拠に必要なもの

PCI P2PE に準拠するためには、**PCI PTS に準拠した POI デバイス**、及び **PCI PTS あるいは FIPS に準拠した HSM** が原則的な構成です。

要件は 5 つの大きなドメインと、1 つの付属書によって構成されており (PCI P2PE v3.0)、各ドメインの要件を満たすことが求められます。

PCI P2PE オンサイト評価のご紹介

PCI P2PE 準拠のメリット

加盟店はPCI P2PE 準拠ソリューションを利用することで、約 400 件ある PCI DSS の要求事項を 35 件までに減らすことが可能です。

そのため、**PCI P2PE 準拠ソリューションは加盟店の PCI DSS 準拠に係る負荷を大幅に軽減できる**として、近年非常に注目が高まっています。

また、P2PE に準拠すると **PCI SSC の Point-To-Point Encryption Solution リストに掲載される**ため、加盟店への訴求効果も高めることが可能です。

PCI P2PE オンサイト評価の概要

- 準拠基準
Payment Card Industry Point-to-Point Encryption Ver3.0
- 評価対象
P2PE ソリューション、P2PE コンポーネント、P2PE アプリケーション
- 評価項目
5 ドメイン+ 1 付属書
- 評価手法
①インタビュー ②現地視察 ③システム・機器などの実機確認
④文書・記録類の確認 ⑤準拠レポート (P-ROV) 作成
※適宜サンプリングを実施する。
- 準拠認定証明
準拠認定証明書 (P-AOV) の発行、準拠認定証明ロゴマークの使用許諾

■ まずは御相談ください。お問合せはこちら。



03-6433-3116 (受付時間 平日9:30~17:00)

mailto:Consulting-Sales@bbsec.co.jp

※本カタログは2020年9月現在のものです。これらは予告なしに変更する場合がございますので予めご了承ください。

※記載の会社名、商品およびサービスの名称は、当社ならびに各社の商標または登録商標です。



株式会社ブロードバンドセキュリティ



■ 本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F TEL: 03-5338-7425 FAX: 03-5338-7427
URL : <https://www.bbsec.co.jp/>